

(事業名)

GiraffeWork Powered by MAERSK TRAINING



2023年10月

1-1. 事業の概要

GWO認証の訓練施設の設置及び運営

開校予定：2024年4月

対象者：洋上風力発電のO&M、設置及び撤去に関連する人材

場所：神奈川県川崎市

特徴：①各種GWO認証コースの開設（BST5、BST4、ART、BTT）
②利便性の高い首都圏での開校
③海外と同規模の訓練用プールの設置
④マースク・トレーニング社による専門的知見の提供

1 – 2. 事業の目的

(1) 課題設定の背景

- 国内の洋上風力発電に関連する人材不足（特に、O&M人材の不足は深刻）
- GEリニューアブル・エナジー、ベスタス、シーメンスガメサ・リニューアブルエナジーが製造する風力発電機の作業に従事するには、GWO認証施設での基礎安全訓練を修了していることが必要
- 洋上での作業となるため安全確保も課題

(2) 事業の目的・目標

- 訓練施設を首都圏に設置することで、**全国各地**で作業する作業員の**利便性**を確保する
- 国内最大級の大規模な訓練施設とすることで、洋上風力発電に関連する人材を多数輩出する
- マースクトレーニング社と協力することで、より**安全かつ技術水準の高い作業員を育成**する

2-1. 事業の実施内容



首都圏(神奈川県川崎市) に位置

【アクセス】

JR品川駅より扇町駅まで電車で40分、駅から徒歩2分

JR東京駅より扇町駅まで電車で50分、駅から徒歩2分

羽田空港より、車で30分



2-1. 事業の実施内容

建物・施設

- ・株式会社門倉組が設計・施工管理、株式会社ハヤカワが施工
- ・GWOの認証基準を満たすため、マースク・トレーニング社の助言を受ける
- ・施設詳細

教室 4 室（収容人数：各15人）、プール（海外のGWO認証施設と同規模）、高所タワー、クレーン、更衣室、シャワー室 等

備品

マースク・トレーニング社から各カリキュラムに必要な備品リストの提供を受け、同リストを参考に、経済性・納期等の点でよりよい条件で当社にて独自に調達

システム

GWO の認証施設となるためには、受講者の情報や受講状況を適切に管理できるシステムの導入が必要

マースク・トレーニング社から管理システムの導入に関する支援及び助言を受け、システムの導入や運用体制の整備を行う

施設開校後の品質維持

1 年に 1 回 マースクトレーニング社からの監査を受けることにより、提供する各カリキュラムがGWOの定める基準から逸脱しないよう、品質を維持

組織体制

総括事業代表者	1 人
副総括事業代表者	1 人
事務管理責任者	1 人
施設長	1 人
事務スタッフ	2 人
正指導員	5 人

※完成予想図



2-1. 事業の実施内容

提供するカリキュラムの内容

①基礎安全訓練（BST 5）、同リフレッシュコース

- 1 ファーストエイド（First aid）
- 2 マニュアルハンドリング（Manual Handling）
- 3 ファイアーアウェアネス（Fire Awareness）
- 4 高所作業(Working at height)
- 5 シーサバイバル（Sea Survival）

②基礎安全訓練（BST 4）、同リフレッシュコース

- 1 ファーストエイド（First aid）
- 2 マニュアルハンドリング（Manual Handling）
- 3 ファイアーアウェアネス（Fire Awareness）
- 4 高所作業(Working at height)

③上級救助訓練（ART）、同リフレッシュコース

- 1 ナセル、タワー、ベースメントの救助
- 2 ハブ、スピナー、ブレード内の救助
- 3 単独救助 – ハブ、スピナー、ブレード内
- 4 単独救助 – ナセル、タワー、ベースメント

④基礎技術訓練（BTT）

- 1 電気（Electrical）
- 2 機械（Mechanical）
- 3 油圧（Hydraulic）
- 4 ボルト締め（Bolt Tightening）

2-1. 事業の実施内容

成果指標及び効果測定の方法

(1) 成果指標

- ① 施設デザイン・設計の完了及び施設の完成
- ② GWO指導員 5 名の育成
- ③ 全備品の調達及び設置の完了
- ④ 管理システムの導入や運用体制の整備

(2) 効果測定の方法

- ①について、設計図面の受領、竣工後の検査結果及び引渡しの有無
- ②について、マースク・トレーニング社からの修了証の受領
- ③について、マースク・トレーニング社との協議を経た備品設置計画との適合性
- ④について、マースク・トレーニング社により行われる、GWO認証基準の要求事項を満たす運用保守システムであるか否かについての分析及び報告書の受領結果

2-2. 実施体制

————→ 委託・外注先関係／補助金活用有

補助事業者

株式会社
GiraffeWork

業務委託・外注先

マスク・トレーニング社

デンマークの人材訓練会社で、1977年の石油プラントでの事故をきっかけに、労働安全衛生の向上を目指し、1978年に設立された。それ以降、海事業界、風力業界等、様々な分野の専門的な訓練を提供している。GWO との関係では、GWO 基礎安全訓練及びGWO 基礎技術訓練の提供を行っており、GWO 上級救助訓練、GWO 上級応急手当訓練等のカリキュラムの開発において、風力発電業界及びGWO と緊密な協力関係を築いている。

株式会社門倉組 (設計・施工管理)

神奈川県藤沢市の建設会社で、大型プールの建設実績がある。

株式会社ハヤカワ (施工)

神奈川県川崎市の建設会社で、当社とも予てより取引があり創業72年の信頼と、官公庁施設や商業施設、オフィスビル等から神社仏閣の建築まで幅広い実績を有している。

2-3. 実施スケジュール

本事業の実施スケジュール

実施内容	年	2022					2023												2024							
	月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
マスク・トレーニングとの関係																										
本事業に関する基本合意書の調印式		■																								
事業内容具体化に向けた打ち合わせ		■		■		■		■		■		■														
人材採用・育成																										
施設長の採用			■																							
事務スタッフの採用（予定）			■																							
指導員の採用						■																				
マスク・トレーニング社（スコットランド）で本施設の指導員訓練														■	■	■										
施設建設等																										
本施設の建物建築												■	■	■	■	■	■	■	■							
基礎工事												■	■	■												
鉄骨建方															■											
高所タワー用コンテナ設置																			■							
施設備品の設置																			■							
プール建築														■	■	■	■	■	■							
受講管理システムの導入																		■	■							
施設の竣工																			■							
GWOによる認証																				■						
本施設の運営																										
受講者の受付															■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
本施設の開校・訓練開始																					■					

その他の実施スケジュール

- マスク・トレーニング社との打ち合わせは、必要に応じて適宜実施
- 未調達の備品については、国際海上輸送の状況も不安定であるため、開校に間に合うよう、適宜調達を進める
- 施設の広告・PRについては、本事業の進捗に合わせて、マスク・トレーニング社やGWOを通じた風力発電メーカー等へのプレリリース等を実施する

本年度の補助金事業実施期間